

# TopBoar Z ～ ユーザー訪問レポート ～

## ① 千葉県S農場(母豚130頭・種雄豚12頭)のお話

S農場様にはトップボアZを発売当初(2010年)からご愛用頂いております。  
トップボアZの機能・嗜好性に高い評価を頂いております！

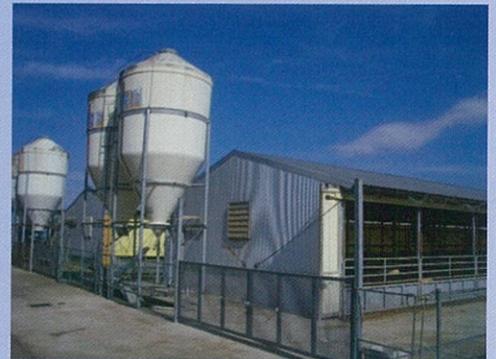
『トップボアZは暑くなり始める4月から涼しくなる10月まで、夏場対策として使用しています。

以前は有機ミネラルを給与していましたが、価格や嗜好性の面で不満があって他のものがないかと模索していたときに紹介してもらいました。

雄にとって重要である亜鉛と、以前使用して好感触を得ていたRUが配合されている点に魅力を感じました。

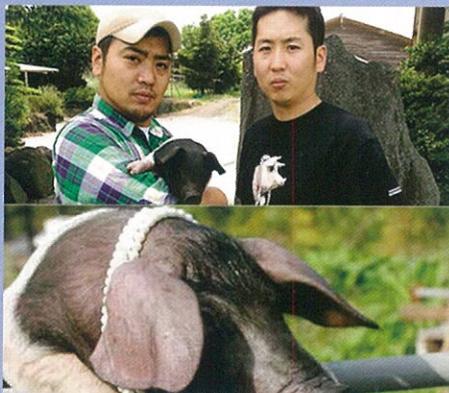


種付けは本交なので乗駕欲が重要なのですが、トップボアZを給与し始めてからは安定しています。嗜好性も良く、トップドレスで問題なく食べているので満足しています。』



## ② 鹿児島県F農場(母豚300頭・種雄豚20頭)のお話

F農場様には2011年の夏からトップボアZをご愛用頂いております。  
トップボアZとドリップクーリングで暑い夏を乗り切っています！



珍しいサドルバック種をベースに生産し、直営販売店も営むF農場様

『この製品を使用している方からホルモン剤使用時と差のない成績が出ていることを聞き、夏場対策として使い始めました。

種付けは本交のため精液性状は確認できませんが、乗駕欲が増したと感じています。特にデュロック種は状態に波があったのですが、給与することで安定するようになりました。

夏場は常時給与し、その他の季節は交配後に給与することで良い結果が出ています。』

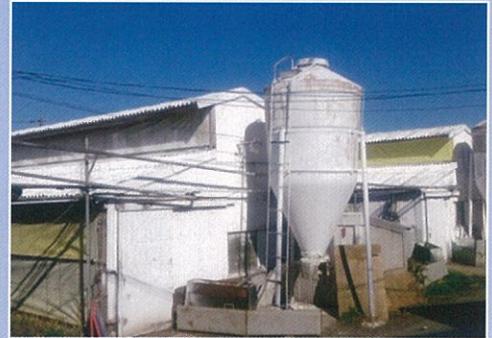
# TopBoar Z

～ ユーザー訪問レポート ② ～

## ① 愛知県U農場(母豚240頭・種雄豚13頭)のお話

普段から大声を出さない、乱暴に扱わないなど豚にストレスをかけないように心掛けて飼育されてるU農場様。暑熱ストレスにもしっかり対策されています！

『20年ほど前からアドヘルスを使用していて調子は良かったのですが、雄にはアルギニンが良いと聞き、アドヘルスにアルギニンが入った製品を希望していました。一時的に他のアルギニン製剤を使用したのですが、トップボアZが販売されたので使用したところ、感触が良かったので継続使用しています。』



石灰塗布した豚舎

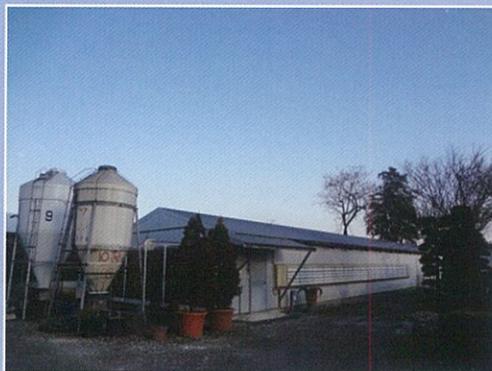


U様と営業担当者

雄豚の夏場対策は重要だと考えており、雄用の断熱餌タンク、屋根への石灰塗布と気を使っていますが、添加剤としてのトップボアZも有効です。5月の連休頃から10月まで給与しており、特に夏場でも乗駕欲が落ちないという点で評価しています。』

## ② 栃木県S農場(母豚200頭・種雄豚11頭)のお話

離乳頭数の増加を第一の目標としているS農場様。トップボアZ使用で夏場の安心感UP！！



S農場豚舎

『発売当初から、毎年4月から10月頃まで使用しています。この時期には、トップボアZとオリゴ糖製剤を混合し雄豚に給与しています。』

きっかけこそ、他の製品よりもPRが早かったという単純な理由でしたが、以前使用していた製品より雄豚の活力が増したと感じていて、今では毎年欠かさず使用しています。

乗駕欲もパワーもあるケンボロー種ですが、夏には何かしら給与しなければ安心はできません。トップボアZを給与していれば夏場でも変わらず安定しています。』



ケンボロー種の雄豚

# トップボアZ

## ～ ユーザー訪問レポート ③ ～

### ① 鹿児島県萩原人工授精所（種雄牛約10頭・母牛約40頭）のお話

祖父が創業した人工授精所を父から継いだ3代目の萩原さん。創業以来、「和牛の改良」という理念のもと技術改良や機材設備の整備に取り組み、優秀な種雄牛造成に取り組んでいます。

『現在、種雄牛を約10頭飼養しています。夏の間は何とか乗り切れることもあるのですが、暑さが落ち着いた秋口に精子活力が落ちてしまう傾向があり困っていました。そんなとき全薬の営業の方にトップボアZを勧められ、使ってみたところ非常に結果が良かったのでそれ以来ずっと使用しています。給与量は推奨量通りの1日100gです。

特にエース級の牛は採精頻度が多く負担がかかっているためトップボアZは欠かせません。

他の農場さんから何か良いサプリメント無い？と聞かれたときには自信を持ってトップボアZをお勧めしています。』



萩原人工授精所の牛舎

### ② 鹿児島県H畜産（母牛約130頭）のお話

H畜産さんでは約130頭の繁殖和牛を管理し、採卵も積極的に実施しています。また、場長のHさんは人工授精師、受精卵移植師としても活躍されています。



H畜産の牛舎

『うちでは約130頭の母牛を飼養していて、月に1～2回採卵を行っています。以前は採卵時にビタミン剤とβカロチン製剤を使っていたのですが、2年程前からは採卵30日前～採卵日までトップボアZ（1日50g）とβカロチン製剤を併用して与えています。このプログラムで卵の数やランクが良くなることを実感しています。私は受精卵移植の仕事もしていて、他の農場さんにも出入りしているのですが、状況によってトップボアZを勧めることもあります。現在、5～6軒の農家さんが気に入って使ってくれています。採卵成績が良くなるだけでなく、牛が元気になったとおっしゃる方もいますよ。』